

事業者排出量削減報告書

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	京都府京都市下京区東堀川通り塩小路下ル松明町1番地								
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	株式会社 ロイヤルホテル リーガロイヤルホテル京都 総支配人 廣間 準一								
事業者の主たる業種	ホテル業								
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））								
計画期間	20年 4月 ~ 23年 3月								
基本方針	エネルギー消費効率の改善及び廃棄物排出の削減								
推進体制	総支配人を本部長として省エネルギー推進委員会を設置 委員長を管理部長、事務局は施設チームとする。								
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容						
	20	設備	5階客室居室照明を電球から蛍光灯に60室変更17,590W→2,275Wに15,315Wの削減。業務用冷蔵庫4台インバーター制御型に更新。						
	21	設備	客室ブラウン管式テレビを液晶テレビに取替489台。9階パンクートルーム照明変更1,440Wを368Wに1,072Wの削減。空調機の運転時間の見直し。						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （19）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （22）年度 （二酸化炭素換算）	増減率 （計画）	報告年度（実績） （21）年度 （二酸化炭素換算）	増減率 （実績）			
	A 事業所等排出区分	6,571.3 t	6,373.9 t	-3.0 %	5,916.9 t	-10.0 %			
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%			
	C その他排出区分	t	t	%	t	%			
	排出合計	*1 6,571.3 t	*2 6,373.9 t	-3.0 %	*4 5,916.9 t	-10.0 %			
実績に対する自己評価	省エネルギーを順次進めてCO ₂ の削減をしているが、ホテル利用人数が減っている為 必然的にCO ₂ も低減。平成21年度客用エレベーター更新工事は、年度末に実施した為 平成22年度に成果を発揮するものと期待される。								
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）		
	リーガロイヤルホテル京都	二酸化炭素換算 延べ床面積	0.153 t-CO ₂ /㎡	0.148 t-CO ₂ /㎡	-3.2 %	0.138 t-CO ₂ /㎡	-10.1 %		
	リーガロイヤルホテル京都	二酸化炭素換算 ホテル利用人数	6.276 t-CO ₂ /千人	6.087 t-CO ₂ /千人	-3.0 %	6.163 t-CO ₂ /千人	-1.8 %		
		二酸化炭素換算			%		%		
実績に対する自己評価	床面積当たりのCO ₂ は、分母が同じなので減っているが、ホテル利用人数を分母にするとホテル利用人数も減っている為、基準年度の-1.8%に留まっている。								
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度（計画）			報告年度（実績）				
		取組量等			（二酸化炭素換算）				
	森林の保全及び整備	（整備面積）	ha	（吸収量）	t	（整備面積）	ha	（吸収量）	t
		（利用量）	m ³	（削減量）	t	（利用量）	m ³	（削減量）	t
	府内産の木材の利用	（発電量）	kw	（削減量）	t	（発電量）	kw	（削減量）	t
		（熱供給量）	GJ	（削減量）	t	（熱供給量）	GJ	（削減量）	t
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	（発電量）	kw	（削減量）	t	（発電量）	kw	（削減量）	t
		（熱供給量）	GJ	（削減量）	t	（熱供給量）	GJ	（削減量）	t
	グリーン電力の購入	（購入量）	kw	（削減量）	t	（購入量）	kw	（削減量）	t
		（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t
家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t	（削減量）	t	
	削減量等合計		*3 t		*5 t				
差引排出量 （排出合計-削減等合計）	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）				
	*1 6,571.3 t	(22)-(19) 6,373.9 t	-3.0 %	(21)-(19) 5,916.9 t	-10.0 %				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動									
特記事項	1 平成13年度特高受変電機器を高効率型に更新及び平成14年度高圧変電機器を高効率型に更新 損失低減に寄与する。 2 平成15年度No.1ターボ冷凍機400USRT 365KWを高効率型420USRT 334KWに更新 平成16年度No.2ターボ冷凍機400USRT 365KWを高効率型420USRT 334KWに更新 3 平成17年度ボイラー燃料転換 A重油→都市ガス13A 約8.13%CO ₂ 削減 4 平成18年度特高受電 計約電力2,650KW→2,600KW ピークカットと共に常時使用電力に注意する。 5 平成21年度客用エレベーター4基駆動用電動機取替及び制御方式をインバーター制御に更新し、館内照明をLED化する。								

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。
 4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。
 5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度（計画）」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度（実績）」欄には実績の累計を記入してください。
 6 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達の実用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。